

令和7年度 埼玉県茶業研究所

研究成果発表会

2026.2.9（月）

2021年7月7日

二番茶摘採後の深刈り更新（茶研）

葉層がなくなる程度の深刈り

→関連課題（1）

‘さやまかおり’は毎年二番茶摘採後に
深刈りできる



チュウゴクアミガサハゴロモの成虫

→関連課題（4）新害虫チュウゴクアミガサハゴロモとは
－発生消長と薬剤感受性の検討－

次第

1 開 会

2 あいさつ

3 成果発表

- (1) ‘さやまかおり’は毎年二番茶摘採後に深刈りできる
- (2) 温暖化に伴いチャの栽培管理をどう変える？－生産者の要望に基づく検証－
- (3) 石灰窒素施用による温室効果ガスの一種 N_2O の削減効果
- (4) 新害虫チュウゴクアミガサハゴロモとは－発生消長と薬剤感受性の検討－

4 情報提供

- (1) 農作業安全について
- (2) 狹山抹茶事業で得られた成果の紹介

【成果発表】

(1) ‘さやまかおり’は毎年二番茶摘採後に深刈りできる

茶業技術研究担当 高橋 淳

(2) 温暖化に伴いチャの栽培管理をどう変える？

－生産者の要望に基づく検証－

茶業技術研究担当 工藤 健

(3) 石灰窒素施用による温室効果ガスの一種 N₂O の削減効果

茶業技術研究担当 大木和也

(4) 新害虫チュウゴクアミガサハゴロモとは

－発生消長と薬剤感受性の検討－

茶業技術研究担当 宮田穂波

【情報提供】

(1) 農作業安全について

農業革新支援担当 田中江里

(2) 狹山抹茶事業で得られた成果の紹介

茶業技術研究担当 柴田貴子
茶業技術研究担当 工藤 健

発表要旨はこちらからご覧になれます



<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0914/seikahappyoukai.html>